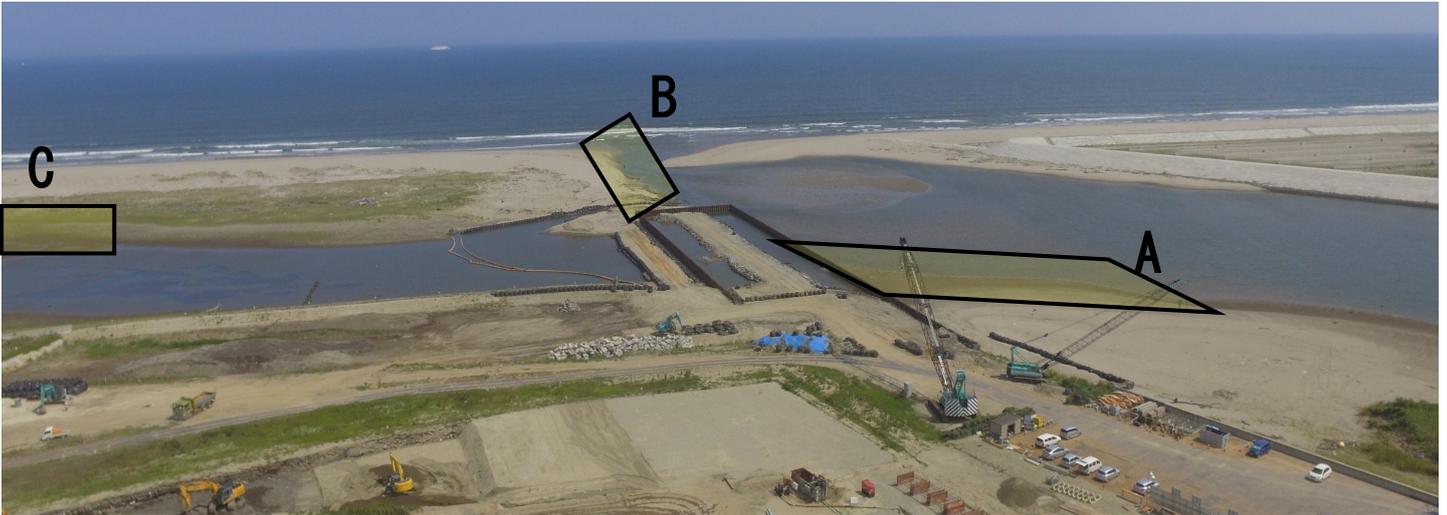


稚魚の接岸はまだ

■イシガレイ稚魚は確認できず

昨年は、2月10日に2cmのイシガレイ稚魚を採集した。過去に1cm程度の稚魚を採集しており、1cmから2cmに成長するのに2ヶ月程度かかると推定すると、1月には稚魚が接岸している可能性を考えたが、採集することはできなかった。ただし、現在蒲生干潟・七北田川河口は堤防工事のため一部しか入って調査することができない。例年数多くの稚魚を採集してきた河口（Fig.1A）では調査できず、より海に近い位置での調査であった（Fig.1B Fig.2 Fig.3）。今回調査できた場所は、波の影響を受けるため、稚魚にとって好ましい環境ではないかもしれない。稚魚にとって、より好ましい環境に接岸している可能性はある。



(Fig.1 蒲生干潟・七北田川河口)



(Fig.2 Fig.1 B付近)



(Fig.3 Fig.1 B付近)

■カキ礁の成長



図1Cにはカキ礁が成長している（Fig.4）。本来カキは硬い基盤の上に成長する。砂・泥の上に生息するものではないが、漂着物を基盤とし、その上に成長していると思われる。Fig.4には網のような漂着物が確認できる。

(Fig.4 カキ礁)

(佐藤 賢治)